

取組事例発表

2024 年度 綾川中学校職場体験学習

～廃棄物処理の様々な現場を体験～

株式会社富士クリーン（所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場太郎）は、2024 年 11 月 26 日から 28 日の 3 日間で綾川中学校の生徒 2 名を受け入れ、職場体験を実施しました。当社の様々な廃棄物処理施設やその他関連する施設を回りながら、設備の点検業務体験、リサイクル設備での作業体験、各現場で業務に従事する社員へのインタビュー等を行いました。

■ 廃棄物の概要及び施設概要の説明

初日は当社がやっている仕事内容や現在扱っている廃棄物について当社の紹介ビデオや講義にて説明を受けました。家庭から出るごみは「一般廃棄物」、会社からでるごみは「産業廃棄物」に大きく分けられ、扱いが変わってくるなど廃棄物についての理解を深めました。また、各施設を一通り回り業務や作業の確認もしました。



（当社紹介ビデオ視聴）



（国産ライチ試験栽培ハウス内）

■ 浸出水処理施設での点検業務体験

当社の浸出水処理施設は廃棄物の最終処分場から発生する浸出水を河川放流できる水準まで処理して焼却施設のガス冷却水として送り出す施設です。施設の稼働を良好な状態で維持する必要があり、定期的に行う点検業務は非常に重要です。制御盤の各メーターの数値に異常はないか、点検窓からの機器内部の状態は正常かなどの点検業務の体験を行いました。また濁った浸出水から透明な処理水になるまでの段階も併せて見て行きました。



（浸出水処理の各メーター数値点検）



（浸出水処理の現場機器点検）

本件に関するお問合先：

株式会社富士クリーン （087-878-3111） soumu@fujicl.com

■ 太陽光パネル処理施設での作業体験

古くなって使わなくなった太陽光パネルをリサイクルするには分解してそれぞれの部材に分ける必要があります。外側のアルミフレーム、端子台ボックス、太陽光を受ける EVA シート、シート表面のガラスに分けられます。そのパネルのアルミフレームを電動ドライバーでビスを取り分解する作業を体験しました。また表面のガラスを剥離する装置の操作方法の説明を受けました。



(太陽光パネルのフレームの分解作業)



(パネルの表面ガラス剥離装置の操作)

■ 業務に従事する社員へのインタビュー

企画開発部ではそれぞれの現場で従事する社員にインタビューを行い、自ら情報を集めて考える体験をしました。インタビューは広い乾式メタン発酵施設のさまざまな場所で社員を捕まえながら行いました。「どんな作業をしていますか?」「気を付けていることはありますか?」「困っていることはありますか?」などの内容を聞きました。質問された社員も解りやすく説明する必要があるので、簡単な例えを交えながら質問に答えました。実際に働く人の視点や考え方を聞いて学ぶことができたと思います。



(クレーン操作室でのインタビュー)



(ボイラー室でのインタビュー)



(プラットフォームでのインタビュー)



(インタビュー内容まとめ中)

毎年実施しているこの職場体験学習ですが、今後もブラッシュアップさせながら継続してまいります。

本件に関するお問合先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com